

# 5-10

## 介護サポーター養成事業

～ 介護サポーターとの施設作り ～

介護サポーター

人材育成

大泉特別養護老人ホーム

発表者：生活相談員 柳川 麻子

所在地：東京都練馬区東大泉2-11-21

TEL：03-5387-2201

E-mail：ooizumitokuyoh-sw@nerima-swf.jp

FAX：03-5387-2144

URL：http://www.nerima-swf.jp

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

平成11年4月に開設、特養が120床、ショートステイ15床、デイサービス（一般型40名、認知症型12名）、居宅、訪問介護、ケアハウスなどを併設しています。近くにショッピングセンターやレストランなどがあり、買い物や外食に大変便利なところです。

### 〈取り組んだ課題〉

- 介護サポーターの養成と導入
- 職員の介護サポーター事業に対する認識の統一と意識の向上
- 活動継続に向けての具体的な取り組みの実施

### 〈具体的な取り組み〉

- 東京都のモデル事業として、平成20年10月と11月に介護サポーター養成研修を開催し、施設の概要説明と活動内容の紹介を行う。  
(シーツ交換や車椅子の清掃など)
- 介護サポーターにアンケート調査を行い、希望の活動内容と希望日時にあわせて平成20年12月から活動（基本的に週1回2時間程度）
- 平成21年2月に「介護サポーターフォローアップ研修」を開催し、意見交換とアンケート調査を実施し、今後の活動内容・日時の調整を行う。
  - ・ 介護職員に、介護サポーターにしてほしい活動について各グループ会議で話し合ってもらい、その内容を元に2回目のフォローアップ研修を平成21年6月に行い、意見交換とアンケートによる活動内容の調整を行った。
- 活動内容
  - ①シーツ交換②車椅子の清掃③ご利用者との話し相手④散歩の付き添い⑤理美容のお手伝い⑥喫茶のお手伝い⑦手芸⑧演奏など

### 〈活動の成果と評価〉

- 平成21年7月現在の登録数は51名。大半の方が介護サポーター活動を継続している。
- 介護職員だけでは限界のあったサービスの部分に介護サポーターが入ることによって、ご利用者の生活に潤いが出てきた。汚れていた車椅子が綺麗になり、話し相手が出来てご利用者も喜んでくれるようになった。
- フォローアップ研修で意見交換を行ったことで、介護サポーター同士での交流も生まれ、サポーター有志による演奏会（ピアノ・ハープなど）を開催出来るようになった。
- 介護サポーターと介護職員との協力関係も出来て、活動内容にも幅が広がるようになった。
- 多くの介護サポーターが施設に入ることによって、利用者の表情や施設全体の雰囲気明るくなり、ご家族への認知度も上がって喜ばれた。

### 〈今後の課題〉

- 介護現場と介護サポーターとの調整（活動内容の変更など）・信頼関係作り
- 東京都のモデル事業としては、1年間（平成21年11月まで）だけなので、その後も活動を継続してもらえるような取り組み

【メモ欄】